

科目名	発達障害児の生理（知的障害者）					単位	2.0
担当教員	小森 薫						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	1513

●授業のテーマ

障害児の病理・保健について基本的知識を学ぶ

●到達目標

障害児の過去と現在の在り方について総合的に理解し第三者に説明できる。

●学習内容(授業概要)

わが国で平成5年12月に施行された「障害者基本法」では、「『障害者』とは、身体障害、知的障害又は精神障害があるため、長期にわたり日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける者をいう」と規定されている。障害者のうち、18歳未満の者を障害児と呼ぶ。

本講義では、障害児の病理・保健について理解するために、まず障害とは何かについて概観し、ついで視覚障害児・聴覚障害児・知的障害児・肢体不自由児・病弱児・言語障害児・情緒障害児・学習障害児・重症心身障害児の特性について述べる。

●学習内容(授業計画)

1. 障害とは何か
2. 視覚障害児（者）の特性
3. 聴覚障害児（者）の特性
4. 知的障害児（者）の特性
5. 肢体不自由児（者）の特性
6. 病弱児（者）の特性
7. 言語障害児（者）の特性
8. 情緒障害児（者）の特性
9. 学習障害児（者）の特性
10. 重症心身障害児（者）の特性
11. 障害児教育の歴史（世界）
12. 障害児教育の歴史（日本）
13. 我が国の知的障害児教育の歴史とそれにかかわった人々
14. 現在の障害児対策の状況
15. 今後の知的障害児対策の課題

●準備学習・事後学習の内容

テキストの通読、授業中配布プリントの復習

●成績評価方法・基準

学期末試験

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『ノーマライゼーション時代における障害学』、著者名：石部元雄・柳本雄次編者、出版社：福村出版、販売先：(株)Do

●参考文献／その他

授業時に指示。

●履修上の注意

基本的概念・用語を正確に理解すること。